

電気通信大学 平成16年度シラバス

授業科目名	ガイダンス論		
英文授業科目名			
開講年度	2004年度	開講年次	1 - 4 年次
開講学期	前学期集中講義	開講コース・課程	昼間・夜間主コース
授業の方法		単位数	0
科目区分	教職科目-教育課程及び指導法に関する科目-生徒指導, 教育相談及び進路指導等に関する科目		
開講学科・専攻	情報通信工学科 情報工学科 電子工学科 量子・物質工学科 知能機械工学科 システム工学科 人間コミュニケーション学科		
担当教官名	大野 久 (学内連絡教官 岡本 敏雄)		
居室			

公開E-Mail	授業関連Webページ
GFA01442@nifty.ne.jp	http://www.rikkyo.ne.jp/grp/jyoseika/ken/vin/oono_h.html

【主題および達成目標】
青年期の人格発達をE.H.Eriksonのアイデンティティ理論を中心に学び、自己分析を含め、青年期の生涯発達における位置づけとその心理を理解する。その上で、青年たちへの進路指導の重要性を学び、具体的な進路指導の考え方を理解する。

【前もって履修しておくべき科目】
なし。

【前もって履修しておくことが望ましい科目】
なし。

【教科書等】
特に定めない。講義中に参考図書を紹介する。

電気通信大学 平成16年度シラバス

【授業内容とその進め方】

講義内容 青年期の心理と進路指導について、以下の内容について1コマ1項目から2項目講義する。1) エリクソンの漸成発達理論 2) アイデンティティとは何か 3) アイデンティティのバリエーション 4) 危機論 5) アイデンティティ・ステータス 6) 親密性 7) 生殖性 8) 漸成発達理論から見た進路指導の意味 9) 具体的な進路指導の考え方

【成績評価方法及び評価基準(最低達成基準を含む)】

講義中の小レポートと、最終レポートの成績で評価する。課題となるすべてのレポートの提出が必須である。特に、講義で得た知識の他、それを実際に用いることによる自己分析の洞察力、表現力と、他者の心理に関する共感的理解の能力が評価の対象となる。

【オフィスアワー：授業相談】

特に設けない。質問等は電子メールで受け付ける。

【学生へのメッセージ】

まず、自分を知ること、そして、相手を知ることが学ぼう。

【その他】